

緑のまちあれこれ



- そろそろ花が咲き出した。北国分では博物館駐車場の桜が最も早く、2丁目公園の桜が三分咲き、道免き谷津の桜はまだ蕾が固い。外環のせいでも東日本大震災のせいでもないと思うが、今年の桜は勢いが無い。お花見も上野では今年は自粛ムードだという。例年の博物館の縄文フェスティバルも今回は中止となった。
- 小塚山に隣接している自宅は地震で屋根の棟が落ちてしまいました。日常的に外環工事で、震度2〜3程度の振動に見舞われていることが影響していると思われます。市に連絡し、写真を見せましたが、今は被害届の用紙が無いので、後日届けるということでした。まだ屋根にブルーシートをかけたままの状態です。(A.H.)
- 小塚山では、近隣住居に近い国道外回りの掘削工事が行われており、そのため今回発生した地震の震度は通常の平地で感じられるものよりひとまわり大きな揺れではないかと推測しております。これにより、一部の住居では、瓦の崩壊や浴室タイルの剥がれが生じました。通常の揺れとは違った異変に、すぐに外へ飛び出し、第一波、二波、三波と、しばらく立ちすくんで居り、倒壊しそうな自宅を啞然として見つめておりました。以前から首都国道側はなんの根拠もなく、この付近の地盤は安定であり、法面だけの工事で問題がないという見解で、擁壁等の対策工事もしないところに、このような大地震が現実発生してしまいました。大雨の後など地盤が緩んだあとであれば、どうなっていたかと考えると原発同様、無責任に“想定外”ではすまされないと思います。地震後、道免き谷津では、液状化現象による大きな水溜りが4つくらい生じていました。また、小塚山では、深夜、北総鉄道の電車の音が、コンクリート躯体の大空洞（国道本線部分）を通じて完全に聞こえるようになりました。防音ハウスの撤去により、強風の通り道となり、まともに突風を受け、工事による振動だけでなく強風による揺れ、そして今回の地震の余震による揺れと、三重苦に限界を感じ、私はいつでも小塚山を去る準備はできております。

(T.I.)

■ 編集後記 ■ 年初の編集後記で書いたことの別の意味での現実が、惹き起こされてしまいました。東日本大震災は天災ではありますが、その地震にともなう津波と、またそれに関連する福島原発の放射能事故、さらに計画停電による日常生活の混乱、これはまさに人災です。早急なライフラインの復興は当然ではありますが、まだまだ時間がかかるだろうと思います。県議会選挙をはじめ統一地方選挙で、どのような国民の意思が下されるか。これまた楽観できない状況です。

緑のまち

—北国分だより—



第97号 2011.4.15 発行

編集 北国分外環対策協議会
 市川市北国分 2-29-12 越田方
 Tel 047-372-8936
 www.midorinomachi.net

第8回 森の音楽会 (小塚山市民の森)

癒し・温故知新・Jazz

小松みゆき
(ボーカル)

4歳からピアノを始める。学生時代から吹奏を夢みて、佐田武則に師事。北村英治、大野雄二、世良瑠璃、多数とセッションを組み、ホテル・グランド・パレス等に出演中。

アヲヒロコ
(ピアノ)

五川大学ピアノ科卒業。早稲田大学Jazz研究会に参加。3枚のCD「夢見」「Pulana」「アジアの風」をリリース。現在コンサート、ライブにも多数出演。音楽監督、演出なども手がける。

野中 英士
(ベース)

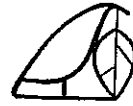
ルーツ音楽院ベース科卒。東京芸術大学別科コントラバス専攻修了。現在テレビ、ラジオ、海外ジャズフェスティバルなどに参加。ジャズだけでなく、幅広くジャンルで活躍。

大の流石 (DJ)
DJ Taro (DJ Taro)

2011年5月8日 (日) 12:30~15:00
小塚山市民の森 あずまや付近
 ※雨天時は小塚山研修所 市川市北国分3の27

主催：森の音楽会実行委員会
 連絡先：星野 TEL047-336-1735

今年も楽しみな小塚山森の音楽会



第18回森の音楽会実行委員長 星野 亘 良

耳で聞く大きな音は「オト」、心できくちいさない音は「ネ」。昔の日本人はこのふたつを区別していた……と、なにかの本で知りました。小塚山市民の森での音楽会、それはまさに「ネ」のなかでの音楽会だと思います。風の音、木の葉のささやき、小鳥の鳴き声、音楽がそれらとよくマッチするものであることを、小塚山森の音楽会は教えてくれました。その数年後、東北の岩代町（今は二本松市に合併）での森の音楽会に参加してその思いをいっそう強くしました。

今年も春とともに森の音楽会が近づいてきました。今年は5月8日（日）です。開会は12時30分。道路優先の20世紀型の外環道路工事によって足元をえぐられ、大きく傷つきながらも小塚山は残っており、また、今年も森の音楽会を開けることを喜びたいと思います。

今年のメインプログラムは地元の音楽家、ブラーナひろこ（水原ひろこ）さんです。うれしいことに、昨年の音楽会に参加して協力を申し出てくれました。ボーカル・ピアノ・作曲・アレンジと、何でもこなすひろこさんが、気の合った仲間（女声ボーカル、ベース）と組んで、自作品・ジャズ・ポピュラーと楽しいステージをつくってくれることでしょう。なじみのあるメロディもとびだすでしょう。みんなで歌うシーンもありそうです。

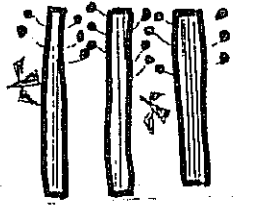
第1部では、今年も地元のサークル、アンクルンの会と緑のまち合唱団が演奏します。外環についての高柳俊暢さんのお話もあります。楽しみな村岡幸生さんの鳥の話もあります。

今年も楽しみな森の音楽会になりそうです。

では、5月8日の午後、小塚山でお会いしましょう。

なお、今年の11月には日本のうたごえ祭典が、はじめて千葉県で開催されます。この祭典の大音楽会（11月19日、千葉市・ポートアリーナ）に、三番瀬・小塚山・松戸関さんの森を結んで環境を大切にするステージをつくろうという取り組みが進んでいます。今年の森の音楽会がそのステージにつながったらどんなに素晴らしいことか……と、胸を躍らせています。

小塚山森の音楽会



■曲 目■

学生時代 水の流れ（オリジナル） Fly me to moon
星に願いを（ジャズ）

■出演者紹介■

小松みゆき（ボーカル） 4歳からピアノを始める。学生時代から歌手を夢みて佐藤武則に師事、北村英治・大野雄二・世良譲ら多数とセッションを組みホテル・ライブハウス・イベントなどに出演中。

ブラーナひろこ（ピアノ・アレンジ） 玉川大学ピアノ科卒業。早稲田大学ジャズ研究会に参加。3枚のCDをリリース。現在、コンサート・ライブにも多数作・出演し音楽監督・演出なども手がける。

野中英士（ベース） ルーツ音楽院ベース科卒。東京芸術大学別科コントラバス専攻修了。現在テレビ・ラジオ、海外ジャズフェスティバルなどに参加。ジャズだけでなく幅広いジャンルで活躍。

《うたごえ祭典環境ステージに向けて》

2011年日本うたごえ祭典が11月18日（金）から3日間、千葉県で開催されることになりました。11月19日（土）には、千葉市・ポートアリーナで、「森を守ろう・海を守ろう・里山里海を守ろう!」をテーマに、環境のステージがつけられることになりました。その準備として、1月30日（日）、三番瀬（船橋）、小塚山（市川）、関さんの森（松戸）を見学する催しがあり、40名の方々が小塚山研修所を訪れました。会場には第1回から昨年までの森の音楽会のポスターが飾られ、参加者を迎えました。この中で、外環反対連絡会の高柳さんが外環の現状などを説明し、北国分在住の萩原さんが森の音楽会の歴史や取り組みの様子などをお話しました。最後に緑のまち合唱団有志で創作曲「この緑いつまでも」など3曲を思いを込めて歌いました。参加者は、出発する前に、切り崩された小塚山の現状を見学し、次の目的地「関さんの森」へと出発していきました。

（佐々木）

危機管理と風評被害

安心できる安全な生活を

西畑 健一



3月11日午後2時40分過ぎ、東北地方太平洋地震が起こった。震度8.8と報道されたのち震度9に訂正され、市内でも震度6弱とされた。東北三陸沿岸の津波の被害は甚大で、街も役場も船も一瞬に跡形も無く流された。中でも福島原発の被災は影響が大きかった。放射能洩れの不安、強制立退き地域ばかりでなく、地域住民の集団移転。首都圏では原発停止による発電量の減少からの計画停電が行われた。

このような時期に東電は、3月31日、7号・8号原子炉の増設申請書を経済産業省に提出していたとう。災害前の企画だったからと弁明しているというが、いかに経営陣が無能であり、役所とここまでつるんでいたかと思わせる報道であった。バブル崩壊や金融破壊の対策でも、役所と政府の間で同様のことが行われていたからこそ民主党は官僚主導から政治家主導の政治をと、勇ましく旗を掲げたのではなかったのか。

これらのことは、外環ともつながっている。どういう過程で政策が決定され、実行されてきているのか。地震や津波は自然災害には違いないが、そうした危機管理に対する政府の対応、地震に対応できるだけの耐震性を原発は予想していたのか。政府は法律に縛られ中止するわけにはゆかない。それなら法律を改正すればいいというかもしれない。しかし施工中の事案はそう簡単に取り消すわけにはゆかないのだ。そして政治家は住民のことなど、なにひとつ考えていない。選挙で当選するかどうかだけに全力をかけているのが現実だ。外環工事は予算がつけられずに、だらだらと続けられてゆくことになるだろう。間接民主主義の日本では国民の代表は国会議員であり、県会議員なのだ。文句を言う人が少数であれば、多数決の民主政治ではその意見は通らない。

東日本大震災の復興対策には、当然災害特別債による資金投入が行われることになるが、それも結局は税金である。即ち次世代へのつけまわしである。経営陣の無能さと、政権内閣のあまりにも無策な政治力を国民は見せつけられた。政治家以外にももともと知恵者がいるはずだ。日本中の知識を動員して策が立てられないのか。

更に、これから特に重要なのは、風評被害の問題だ。風評被害は情報社会の現代における最も危険な現象といえる。放射能汚染にともなう野菜や魚の買い控え、一部の生活物資の買占め行為、店頭からヨーグルトや納豆が姿を消した。原発立退き区域避難者に、受入側施設の心ない人が服の塵を払って入ってくれと言ったとか。みんな自分のことだけ考えた無知の証でしかないことに気付くべきだ。情報発信者は、正確に、現象だけでなく、正しい方向への見通しをはっきりと示さなくてはならない義務を持つ。 2011.4.6

戦争のない、平和な世界をめざすため、北国分・堀之内・中国分・国分・国府台の地域で憲法九条を守りたいと活動している「このだい九条の会」です。下記の通りの予定をしております。よろしくお願い致します。

このだい九条の会結成3周年のつどい

- 日時 平成23年5月29日(日)午後1時30分から
- 場所 西部公民館(中国分)
- 講師 滝本栄市さん
(NGO日本アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会事務局長)
- 内容 リビアをはじめとした中東諸国の情勢や動向



あなたの戦争体験をお寄せください

戦後65年、会として今のうちに戦争体験と記憶を聴きとめておかなければとの思いを強くして、戦争体験の文集を作成したいと企画しました。戦争体験を語れる方々のお話を出来るだけ多く寄稿していただきたいと思います。普通に暮らしていた、普通の人々の数だけ戦争体験があること、その体験やお話を残しておきたいです。

語るには、また文字にするのも辛い記憶ではありますが、是非あなたの体験をお寄せください。

- 字数 800~1200字 書式・様式は自由。原稿用紙でなくても可。
- 原稿を書くことが出来ない方、苦手な方はよろしければこちらからお話を伺いに出向きます。
- 締切 平成23年6月30日

連絡先 松林 TEL 047-375-2925

「くるま依存社会からの転換を」

道路住民運動35年のあゆみと提言

道路住民運動全国連絡会・編著

2011年2月1日 発行 文理閣 定価2400円

第2章で、東京外環千葉区間——「守ろう、わが町」と題して高柳俊暢さん(外環反対連絡会)が執筆されております。(お問合せ) 高柳俊暢 047-373-0845

□バードウォッチング (報告) □

日 時：平成 23 年 2 月 27 日 (日)

天 候：晴

参加者：川上母娘 鈴木 越田 鈴木 佐々木

小沢 三好 飯山 村岡 計 10 名

確認された鳥：

カワウ トモエガモ カルガモ ヒドリガモ オナガガモ

ハシビロガモ キンクロハジロ ユリカモメ キジバト

コゲラ ヒヨドリ シロハラ ツグミ ウグイス

エナガ ヤマガラ シジュウカラ メジロ スズメ

ハシボソガラス ハシブトガラス 計 21 種

コメント：

朝から好く晴れて、春の日差しの中をのんびりと歩き探鳥をしました。
 ヤマガラが近くまで来てくれたし、エナガもシジュウカラも、コゲラも
 メジロもよく見られ、春の一日を皆楽しく過ごしました。

村岡幸生

次 回 4 月 29 日 (祝) 小塚山あずまや 10 時集合 (雨天中止)

どうぞ お気軽にお出かけください。



バードウォッチングに参加して

小 沢 富 子

まだまだ冬がすすんでいるこの季節。それでも小鳥たちはまだ芽ぶきの始まっている
 小枝の間を、チョコ チョコ ピョンピョン とかわいらしい姿を見せてくれます。

青い空の下、やさしい春の気配に小鳥たちは浮き立っているように感じられます。
 恋しい相手を探しているのでしょう。

周りがどんなに変わろうと、木や自然が少なくなろうと、鳥たちは決して文句は言いま
 せん。毎年毎年、繰り返される営みを信じて疑おうとはしません。

そんな鳥たちが、私はいとおしくてなりません。

鳥たちも私たちも、同じ地球で生きている仲間です。小さいものたちの幸せは、私た
 ちの幸せではないでしょうか？

春を告げる花 スミレ

谷 口 浩 之

春を告げる花として思い浮かぶものにスミレがあります。
 緑のまち北国分を歩いていると、U字溝の縁のわずかな
 隙間に紫の花を咲かせているのをしばしば見かけます。

花の写真を撮るときは、見下ろしがちですが、花の高さ
 までカメラを下げたのだとよく言われていますので、
 その通りにするとU字溝の中に足を突っ込んだり、道に座
 り込んだりして撮影します。すると、背中すれすれに車が
 通ることもあり、ヒヤリとしますが、ファインダーをのぞ
 いているときには、それも気がつきません。他人様からみ
 たら何をしているのだろうかと思われかねないかもしれません。



スミレは、日当たりのよい芝生や土手に見受けられます。そんなスミレがなんでアスフ
 ァルトの隙間から芽を出しているのでしょうか。種を蟻が運んだと考えられます。小さな
 小さな種を虫めがねで覗くと、種に甘み物質がほんの少し付着しているのが見えます。
 その甘みのおかげで種は蟻によって巣に運ばれ散らばっていきます。蟻の巣があるくらい
 ですから、土は柔らかいはずで、土の中に運ばれた種は、石ころの多いところでも、芽
 を出せるのです。

私の一番お気に入りの2丁目のU字溝は、数年前新しいものに変えるため掘り起こされ
 てしまい、残念ながらそばにあったスミレの姿は消えてしまいました。小塚山緑地の半日
 陰に咲いていた一番身近なタチツボスミレは、外環道工事のためになくなり、さらに道免
 き谷津に面した中国分斜面のタチツボスミレも宅地造成の高い外壁の下になってしまいま
 した。

悪いことばかりではありません。近くの道端に葉に切れ込みのあるスミレがありました。
 エイザンスミレかとおもいましたが、ヒゴスミレと教わりました。もちろん野生ではなく
 鉢からこぼれた種が芽を出したものでした。

スミレの仲間は、細かく分けると200種を超え、それだけで図鑑ができると聞いていま
 す。散歩カメラマンの私には、とうてい見きわめることはできません。

春です。家を出て、道端に顔を出しているスミレや、明るい日ざしをうけて精一杯生き
 ている野の花に会いに緑のまちを歩いてみませんか。